

金農が目指す5年後の姿（中期ビジョン）

秋田県立金足農業高等学校

学校 の 現 状 や 課 題

- ・ 本県を代表する農業高校としてイニシアチブを発揮しなければならないが、非農家家庭の生徒が90%を超える中で、本校の存在意義を常に明確にしておく必要がある。
- ・ 各部活動の活躍や「金農三生活信条」の定着により、高校入試では県内屈指の高倍率を維持しているが、今後も「農業を学ぶ」ことに明確な目的意識をもつ生徒の入学を期待する。
- ・ いのちの大切さに直接触れる農業実習や、課題研究活動、地域との交流活動を通して育まれる人間性やコミュニケーション能力、問題解決能力を農業にかかわる進路選択に生かすことが難しい現状にある。
- ・ 早期離職者や職業への関心が薄い生徒もおり、社会的・職業的自立のために必要な能力の育成を目指すキャリア教育を、学校全体の教育活動において推進する必要がある。
- ・ 地域や県民の信頼と期待に応えるため、農業教育を一層充実させ、スポーツ金農として文武両道を実践しながら、魅力的で特色ある学校づくりをしっかりと行う必要がある。

学校 を 取 り 巻 く 将 来 の 状 況 予 測

- ・ 農業を取り巻く情勢が大きく変化する中で、これまで以上に食の安全・安心・安定的な生産が望まれるとともに、農業従事者の高齢化や地方の人口減少問題により、日本の農業あるいは農業教育への関心や期待がより高まることが予想される。6次産業化を含めた本県の都市近郊型農業教育モデル校として、より安全で生産性の高い農産物生産と、効率的な流通の在り方、県産品を世界にアピールできる加工品の開発などが求められてくると思われる。
- ・ 魅力的な特色ある農業教育の充実を図るためのカリキュラム編成を常に検討していかなければならない。

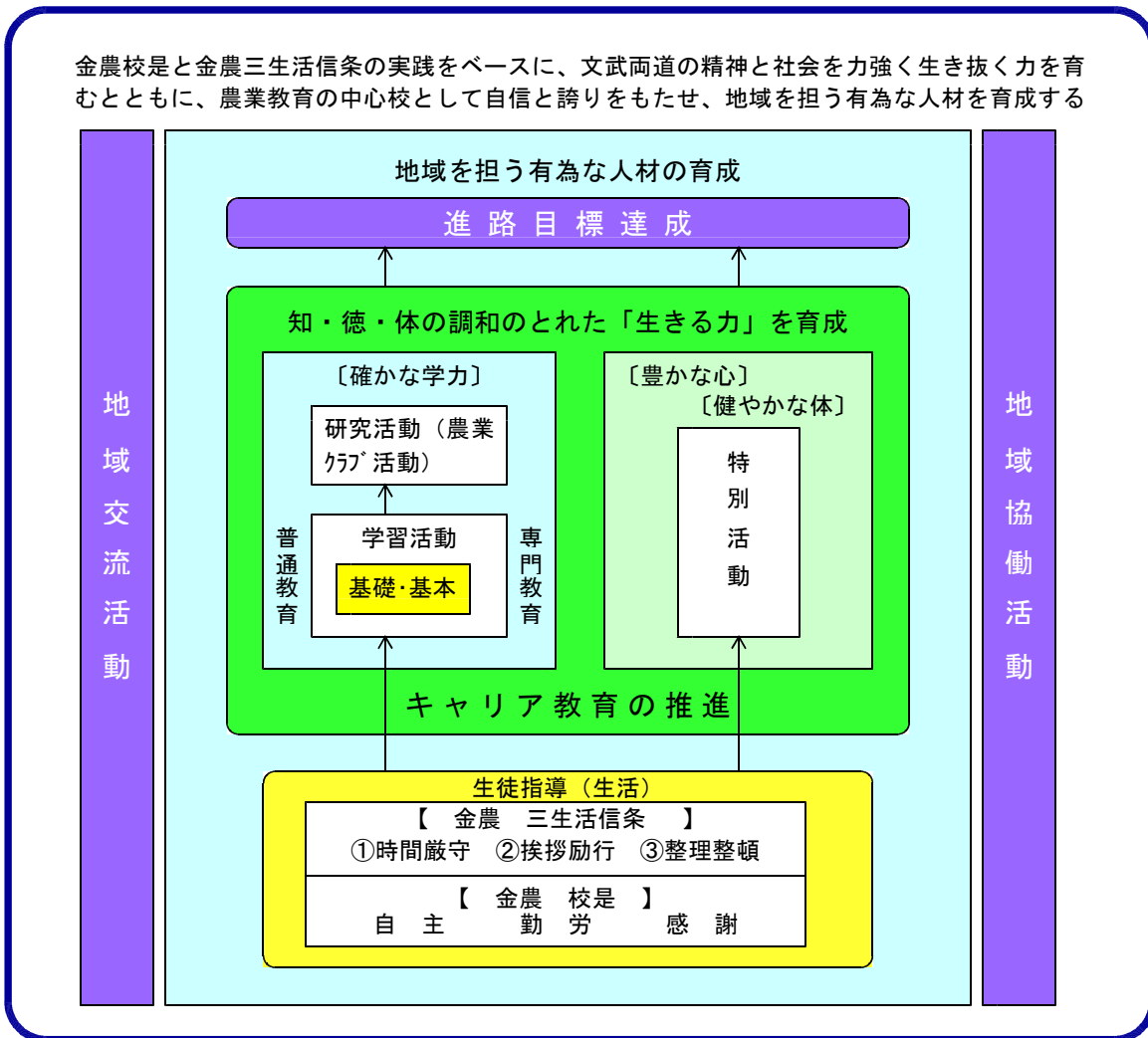
目 指 す 方 向 性 や 学 校 像

- 1 農業教育の中心校として、地域や県民の信頼と期待に応えるため、農業教育を一層充実させ、文武両道を実践しながら魅力的で特色ある学校づくりを推進する。
- 2 本県の農業を基盤とし農業や関連産業及び生活・福祉に関わるスペシャリストとして地域社会に貢献できる人材を育成する。
- 3 先進的な農業教育を通して豊かな人間性を育成するとともに、持続可能な循環型社会の実現に向けて、積極的にその役割を果たす人材を育成する。
- 4 キャリア教育の視点に立って社会的・職業的に自立した人間力や様々な課題に他と協働して立ち向かう実践力を育成するとともに、高い志を育てる教育活動を推進する。
- 5 地域に根ざした高校として、地域と連携を図るとともに、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、信頼される開かれた学校づくりを推進する。

< 目 指 す 生 徒 像 >

- ☆ 将来を見据えて高い志をもって学習に取り組む金農生
- ☆ 積極的に農業クラブ・生徒会活動や研究活動に励む金農生
- ☆ 夢中になって部活動に打ち込む金農生
- ☆ 明るく思いやりをもって地域に生きる金農生
- ☆ 秋田を支え、秋田を元気にする金農生

<生徒育成の指針>



5年間で達成を目指す具体的目標

- 国公立4年制大学進学率 ➡ 進学者の10%以上
- 専門性を生かした私立4年制大学進学率 ➡ 進学者の10%以上
- 県内就職率 ➡ 就職者の85%以上
- 1か年皆勤者数 ➡ 在籍者の50%以上
- 部活動加入率（生徒会、農業クラブ、応援団含む） ➡ 100%
- 一人3資格以上の資格取得者数 ➡ 3年生の90%以上
- 東北大会への出場部活動数 ➡ 8以上
- 全国大会への出場部活動数 ➡ 6以上
- 農業クラブ全国大会入賞数 ➡ 優秀賞3部門以上

具体的な取組等

1 基本的な生活習慣の確立と社会性の育成

- (1) 生徒一人一人の個性の伸長を図りながら、主体的に自己実現を目指そうとする自己理解・自己管理能力を身に付けさせる。
- (2) 校是と金農三生活信条の実践により、社会人としての基本的なマナーを身に付けさせる。
- (3) 善悪に対する判断力と規範意識や遵法精神を育成する。
- (4) 地域への貢献や交流活動を通して、社会性を身に付けさせる。
- (5) 「アフター10運動」推進により、スマートフォン・携帯電話等の使い方に関する指導の充実を図る。

2 キャリア教育の視点に立った確かな学力の育成と進路目標の達成

- (1) 言語活動の充実を意識した魅力ある授業の確立と組織的な授業改善の取組を推進する。
- (2) 授業を大切にし、自主的な学習態度を育成する。
- (3) 家庭学習の習慣化を図るため、適切な課題に取り組みさせる。
- (4) 朝学習や基礎力テストを通して、基礎的な教養を高める。
- (5) 3年間を見据えた進路指導と組織的な指導体制の充実を図る。
- (6) 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育を推進する。
- (7) 「学力・学習状況調査」を活用し、教育の充実を図る。

3 専門教育の深化と充実

- (1) 地域が抱える課題について、生徒自らが分析し、解決するための手だてについて考え実践しようとする姿勢を身に付けさせる。
- (2) 専門性を深化させる課題研究や研究活動を充実させ、進路実現につなげる。
- (3) 高大連携など教育機関等との連携により教育活動を充実させる。
- (4) 一般的な資格と各学科の専門性を生かした資格の取得を支援する。
- (5) 「金農あぐり交流館」の活用により、地域に根ざした教育に努める。
- (6) 情報活用能力等を高める教育を推進する。
- (7) 地域が抱える課題解決のプロジェクト研究に取り組めるよう、ソフト面の充実と校内体制を整える。

4 部活動の強化と充実

- (1) 文武両道を実践し、生徒の能力を最大限に伸ばすことができるように支援する。
- (2) 目標を高く掲げ、その実現のために計画的に行動できる姿勢及び最後まであきらめずに取り組む姿勢を育成する。
- (3) 仲間を思いやる気持ちや、共に助け合い励まし合う心を育成する。
- (4) 生徒の人格や人権を尊重し、信頼関係の構築を図る指導をおこなう。

5 安全で安心な学校づくりの推進

- (1) いじめの根絶の指導、悩みを抱える生徒等への支援の充実を図る。
- (2) 防災教育を推進し、生徒の具体的な対応能力の向上を図る。
- (3) 災害時の避難所運営など、地域社会と連携した防災対策の充実を図る。
- (4) 日ごろから学校施設設備の点検を行い、生徒が安心して学習できる環境整備に取り組む。
- (5) 教員の不祥事防止について、日ごろから研修に取り組み地域から信頼される学校づくりを進める。
- (6) 古い校舎であるが、整理整頓の行き届いたきれいな校舎となるよう指導の充実を図る。

6 創立90周年事業の充実と創立100周年へのアプローチ及び農業教育中心校としての事業の推進

- (1) 農業教育の中心校として、国内外の農業高校との交流活動事業を計画する。
- (2) 運動部に強化部を指定し、全国大会上位入賞を目指す。
- (3) 創立記念事業を通して、生徒の金農生としての誇りと連帯感を身に付けさせるとともに、より良い伝統を自ら築き上げようとする態度を養う。
- (4) 創立90周年から100周年に向けて、学校の活性化や歴史と伝統がある学校づくりを目指す。
- (5) 同窓会組織、PTA活動の充実を図る。

7 資質能力の向上を図る職員研修の充実

- (1) 授業力の向上を高める研修を充実させる。
- (2) 社会の変化に即した教師の力量を高める研修の充実を図る。

8 学校改革の推進と学校組織の活性化

- (1) PDCAサイクルの組織マネジメントによる学校経営の改革を推進する。
- (2) 「あきた型学校評価」を充実させる。
- (3) 学校ホームページを充実させる。
- (4) 校舎改築基本構想の策定と新しい農業教育のあり方を模索し、魅力的な学校づくりを目指す。